

■ 伝統の継承 ■



ああ、今日も太鼓を叩いている音が聞こえる・・・

梅雨の晴れ間の放課後、寸暇を惜しんで応援委員会とチアリーダーの生徒の皆さんが練習を重ねている。

以前のメッセージでも記したように、運動部・文化部ともに様々な大会が中止となっている。

関係する皆さんの心中を察するに余りあることについては、これまでの「校長メッセージ」のいくつかの場面で触れてきた。

なかでも甲子園出場5回を誇る野球部の活躍は、本校活性化の原動力となっていると感じているが、こういった結果を残す

ことができたのも、応援委員会・チアリーダーの皆さんが全校生徒を巻き込んでいった応援があったからこそと思う。

今年度の様々な大会が開催されない状況においても、彼らは上級生が下級生を丁寧に指導しながら、明るく元気に練習を継続している。悲しいかな、様々な活動に制限がかけられている現況では、彼らが今年その活動を大きな舞台上で披露できる機会は（多分）ないであろう。そのことを考えると、とても胸が痛む。

様々な部活で、3年生の引退とその引継がなされている。応援委員会・チアリーダーの皆さんが「伝統の継承」を立派に行っている姿を見ながら、「大丈夫、君たちの気持ちはきっと後輩たちに伝わっているよ。無駄なことなんか一つもないんだから」と感じるとともに、君たちの未来に幸あれと強く願った。